

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 切除可能食道扁平上皮癌に対する術前補助化学療法(5-FU+シスプラチン療法)の効果予測因子としての SLFN-11 の有用性に関する後方視的検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 小松 嘉人 北海道大学病院 腫瘍センター 診療教授

[研究の目的] 術前補助化学療法の有効性が高い患者さんがどのような患者さんか明らかにして、切除可能食道癌の治療法の向上に役立てるため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

切除可能食道癌の患者さんで、2009 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日の間に術前補助化学療法を行った方のうち、化学療法前の内視鏡生検により組織を切除し保管した方。または内視鏡生検の検体と手術検体の両方を保管した方

○利用する検体・カルテ情報

検体：内視鏡生検残余検体、手術残余検体を用います。解析のため DNA チップ研究所へ検体を送付いたします。

カルテ情報：ECOG PS(患者さんの日常生活の制限の程度をスコアリングしたもの)、年齢、性別、身長、体重、診断名、飲酒歴、喫煙歴、臨床病期、術前化学療法の投与状況、最終生存確認日または死亡日、最終無再発確認日または再発日、検査結果(血液検査、画像検査、病理検査)

[研究実施期間]

実施許可日～2026年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に検体や情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 消化器内科

電 話:011-716-1161(内線 5920)

担当医師 原田 一顕

F A X :011-706-7867